

2024 年度学生アンケート 集計要旨

学生委員会

1. アンケートに関して

- 総回答件数 410 名 / 636 名 (回収率 64.5%)
 - 参考：2023 年度 52%、2022 年度 50.8%、2021 年度 66.8%
- 内訳 (学部)
 - 教育学部 214 件 (回収率 71.3%)
 - 国際教養学部 196 件 (回収率 58.3%)
- 内訳 (学年)
 - 1 年生：168 件
 - 2 年生：71 件
 - 3 年生：87 件
 - 4 年生：84 件
- 内訳 (出身区分)
 - 留学生以外 305 件
 - 留学生 105 件

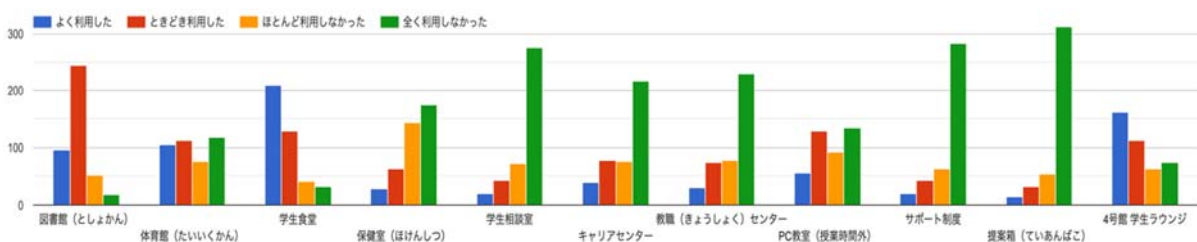
2. 質問に関して (要約)

大学の施設利用 (表 1) について

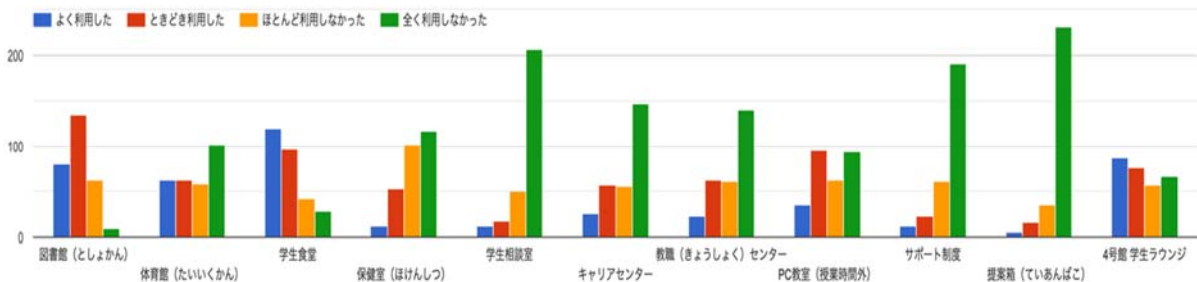
- 概ね **2023 年度と同様の結果**だった。
- 総合的に使用度が高いものは図書館、食堂、体育館、学生ラウンジ
- 使用率が低いものは学生相談室、キャリアセンター、教職センター、サポート制度、提案箱
 - ただし学生数が増えたこともあり、これらの**使用人数自体は増えている**。とはいえ昨年同様に、**学生の学習・就職サポートに関するサービスの利用率が低い**。

表 1 (2024 年)

5. 【大学の施設 (しせつ) ・制度の利用】 どの程度、利用しましたか。ひとつ選んでください。



参考 (2023 年)

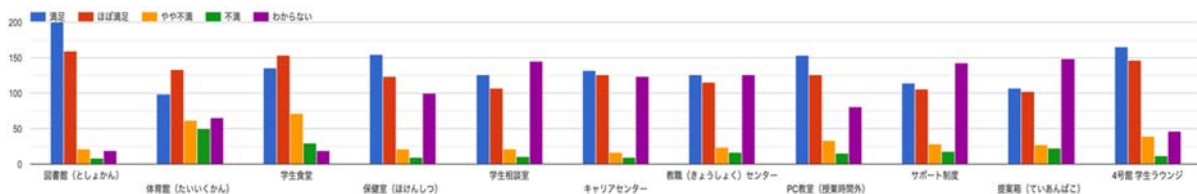


施設の満足度 (表 2) について

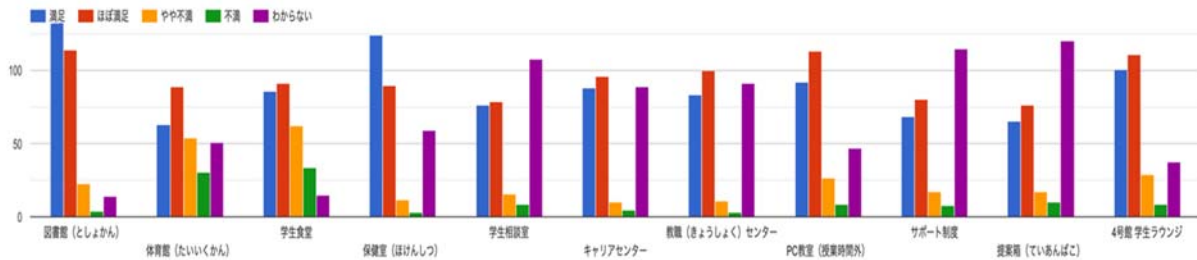
- 概ね昨年と同様。上述のように学生の学習・就職サポートに関するサービスの利用率が低くても、これらのサービスの満足度は高い（ほとんどが満足かほぼ満足）。
 - これらの学生サービスの周知をより積極的に行うことが課題となる。「そもそも知らない」という学生が割といることがアンケートからわかる。
- 特筆すべき変化としては、①教職センターの満足度が上がったこと（特に2年生）、②PC教室の満足度が上がったこと（なぜ?）
- ただし体育館と学食については昨年同様学生の不満度がそれなりにある。
 - 私見：小耳に挟んだ話だと、体育館に関しては夏や冬の冷暖房環境が悪いとのこと。食堂に関しては利用者が多く並ぶため休み時間中に昼ごはんが確保しにくいとのこと。そうすると、自然と4号館でカップラーメンを食べるといった食生活にシフトする学生が増える。

表 2 (2024 年)

6. 【大学の施設（しせつ）・制度の利用】の満足度（まんぞくど）について、ひとつ選択してください。



参考 (2023 年)

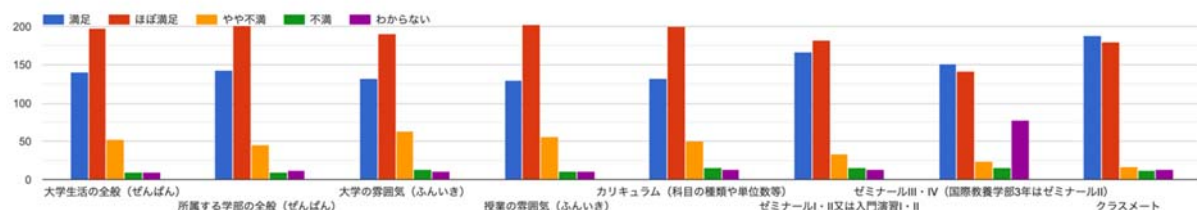


大学生生活の満足度 (表 3) について

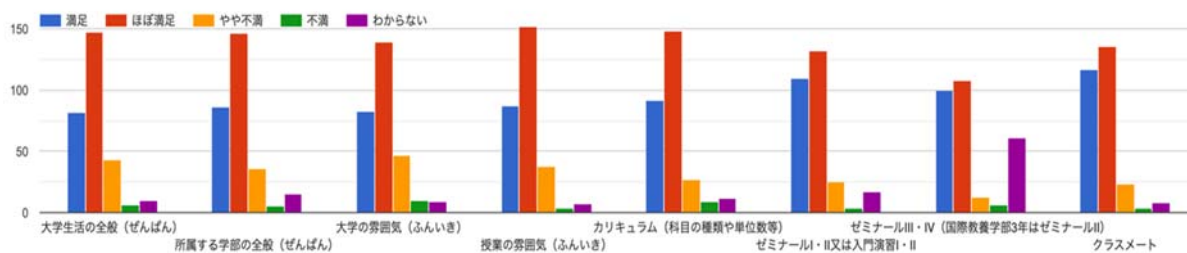
- 概ね昨年と同様。ほとんどの学生が質問項目に対して「満足している」「ほぼ満足している」を回答している。総じて、本学の学生は大学に対して比較的満足している傾向にある。「不満」や「やや不満」と回答した学生は他の項目でも同様の回答をしている傾向にある。こちらも昨年と同様。
- 大学生生活、学部、大学の雰囲気、授業の雰囲気、カリキュラムに「やや不満」ないし「不満」を回答した人が 50 名ほど (12%) いるが、これを多いと取るか、少ないと取るかは要検討。授業に関して高い評価を毎年継続している点は特筆に値する。

表 3 (2024 年)

7. 【大学生生活の満足度】今年度、下記に対する満足度について、ひとつ選択してください。



参考 (2023 年)

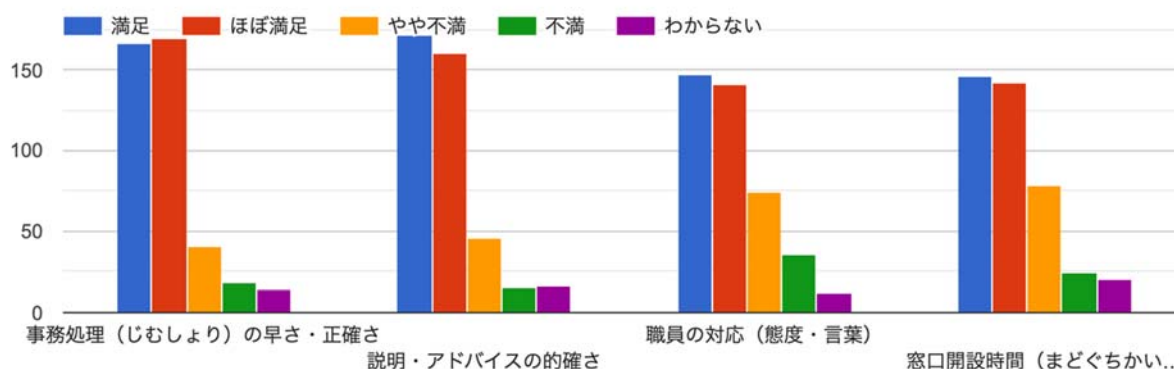


事務室の対応について (表 4)

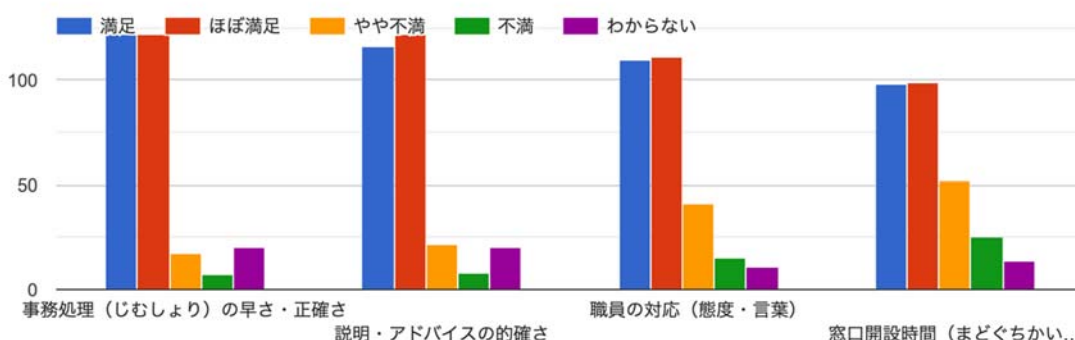
- 昨年同様事務の対応について学生の満足度が高い。事務処理の速さ (82%)、説明・アドバイスの的確さ (81%)、職員の対応 (70%) など。
- 逆に昨年同様、窓口開設時間に関しては他の項目と比べ得て不満度が相対的に高い。特に留学生に「やや不満」と回答する傾向がある。具体的に何が問題となっている？

表 4 (2024 年)

9. 【大学の事務管理 (じむかんり)】大学の事務室 (じむしつ) の対応について教えてください。



参考 (2023 年)



学生の日常生活について（表 6～表 10）（2023 年度のものは割愛）

- サークル等の活動については表 5 を参照
- **106 名（26％）の学生が睡眠時間を「あまり取れていない」「取れていない」を選択している。**「きちんと取れている」の回答者も 25％程度。
- また、310 名（75％）の学生が常態的に夜 12 時以降に就寝している。2 時台に寝ている学生も 50 名（12％）もいる。
 - **在籍学生の 1/4 が睡眠時間を十分に取れていないことは、授業運営上の支障がある**という理由だけ取っても十分問題であると考えて良いのではないか？
- 朝食をほとんど食べない学生はそれなりに多い（25％）ほど（表 8）。栄養バランスは「だいたい取れている」とする学生が多いが、**1/4 に当たる 100 名が「あまり取れていない」としている点は要注意。**昨年よりも 10％以上増加している。（表 9）。
- 1 日あたりの勉強時間（表 10）は 1 時間未満が最も多く（46％）、1～2 時間（30％）、3～4 時間（15％）、3～4 時間（5％）、4 時間以上（5％）ほど。ただし学年によって変動あり。
- ここから、**学生の就寝時間の遅さは、夜まで勉強をしているわけではなく、アルバイトや部活などの理由によって時間を多く取られている**可能性がある」と指摘できる。

参考：「睡眠時間 2 時以降」を選択した学生をランダムで抽出して回答を見た場合（1 年生、国際教養、日本人、実家から通学）

- 朝食は「全く食べていない」
- 食事の栄養バランスは「あまり取れていない」
- 勉強時間「1 時間未満」
- 4 号館ラウンジ、学食以外の施設の利用がほとんどなし（わからないを回答）。

表 5（2024 年）

8. 【大学生生活】 次の活動をしていますか。1 つ選択してください。

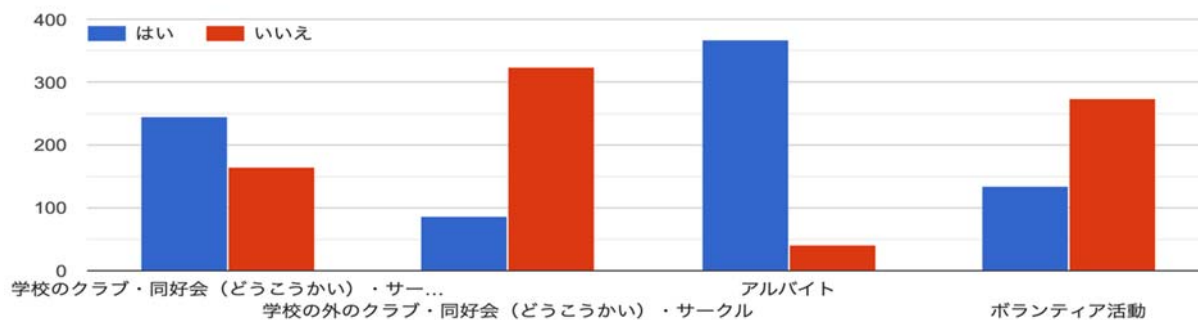


表 6

10. 【日常生活】 該当（が）（い）（とう）するものをひとつ選択してください。

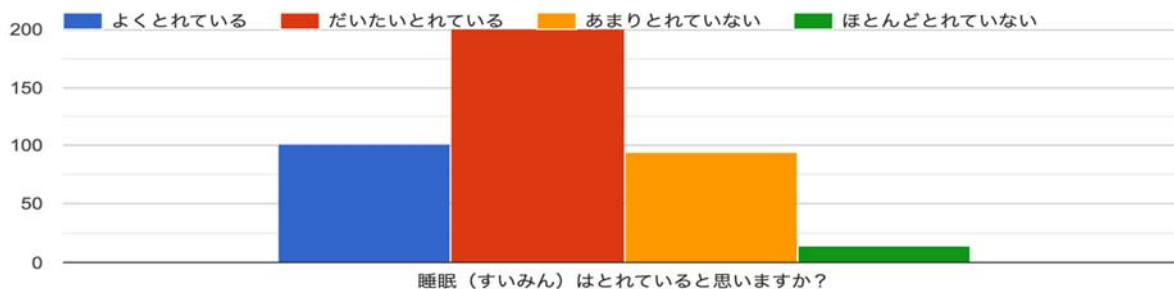


表 7

11. 【日常生活】 該当（がいとう）するものをひとつ選択してください。

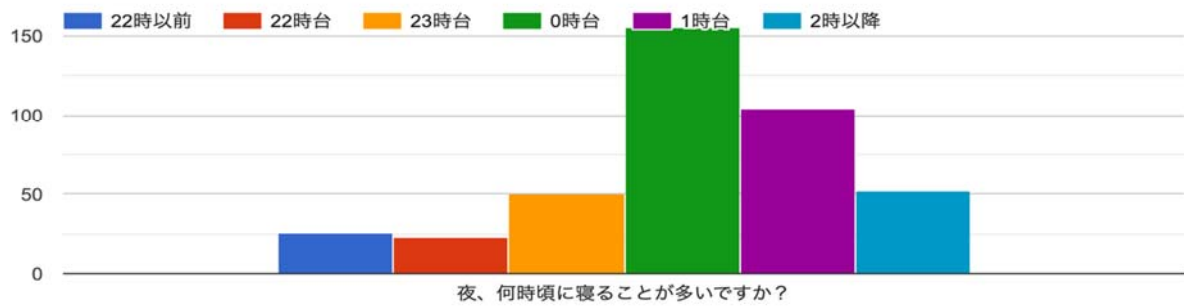


表 8

12. 【日常生活】 該当（がいとう）するものをひとつ選択してください。

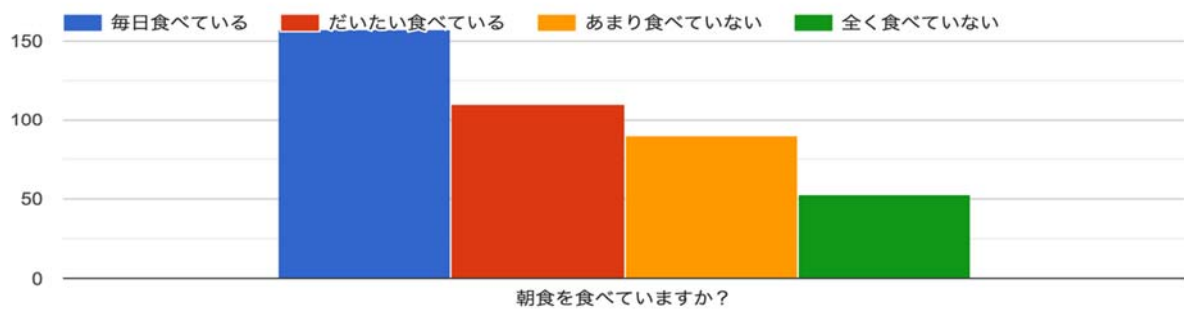


表 9

13. 【日常生活】 該当（がいとう）するものをひとつ選択してください。

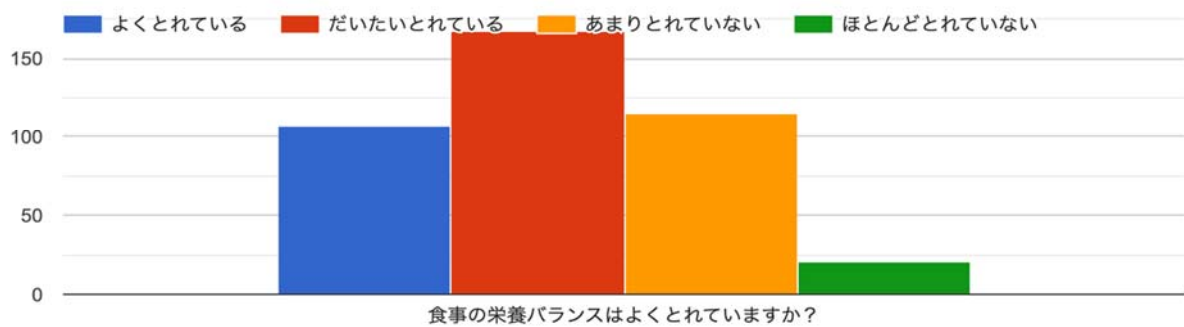
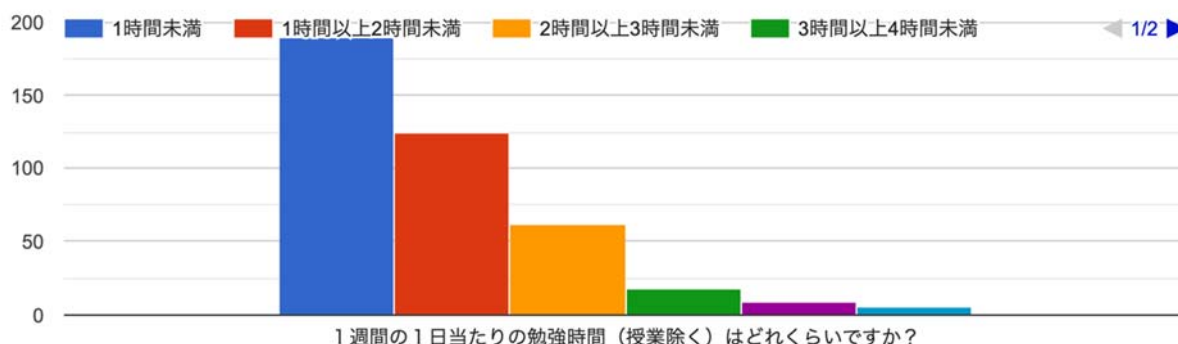


表 10

14. 【日常生活】 該当（がいとう）するものをひとつ選択してください。



備考：来年度にむけて

- ⇒ 学生の生活パターンと大学や施設への満足度や利用度に相関関係があるのかどうかを知りたい（要クロス分析）。睡眠時間が少ない学生ほど勉強についていけなくなったり学校にいけなくなったりして、ストレスの方向を大学に向けることも考えられる。
- ⇒ 「睡眠時間 2 時以降」、「大学の施設やサービスに大きな不満を感じている」「大学生活においてクラスメートに「不満足」と回答している」などの回答をした学生が一定数いることは確かなので、大学としてどうしていくべきか？
- ⇒ 今後性的マイノリティの学生や特定の宗教を信じる学生が入ってくる（というよりも、もう入学していると考えて良い）。そうした時に、大学施設の満足度として「ジェンダーに配慮したトイレの有無」や「礼拝・祈祷室の有無」なども追加する必要があるが出てくるかもしれない。現状では、本学にはどちらも無いが学生の人権とも関わることなので、「大学施設」の 카테고리をもう少し拡張させ、まずは需要を知るということを考えても良いかもしれない。
- ⇒ 留学生はそもそもアンケートの内容を理解しているのか？（大学生活や授業の満足度で「わからない」を回答する意味がよくわからない）